

市原湖畔美術館

ICHIHARA LAKESIDE MUSEUM 2013.05.29 PRESS RELEASE

晴れたら市原、行こう

市原湖畔美術館 2013年8月3日 [土] オープン!!



「市原湖畔美術館」開館のお知らせ

2013.8.3 [土] オープン

「市原市水と彫刻の丘」は、約2年の改修工事を経て、この夏、「市原湖畔美術館」として生まれ変わります。

館長：牧野 研一郎

新規指定管理者：(株)アートフロントギャラリー



リニューアルに際して

1. 建築改修について

改修設計: 川口有子+ 鄭仁愉 / 有設計室

環境・建築・アート作品が一体となった美術館に

周辺環境との融合をめざした設計で、行き止まりのない導線を創出しています。

既存構造体を生かした改修

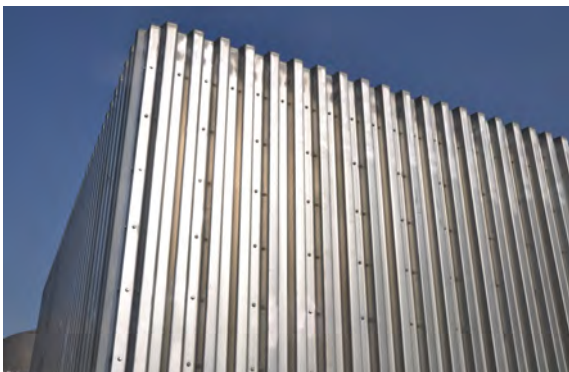
ユニークな回遊性を持った既存骨格を、コンクリート剥き出しで生かしました。

特徴は、「アートウォール」

土木用の折板をそのまま使用した「アートウォール」と名付けた壁面をボックス型にして増設しています。

高滝湖の夕日を臨むレストラン棟の新設

別棟として新設されたイタリアンレストラン「Pizzaterria Bosso」では、房総の素材を使った料理を楽しめます。



2. デザイン・コンセプト

デザイナー 色部 義昭/日本デザインセンター

立地と景観の良さを伝えるロゴマーク

自然環境に恵まれた高滝湖の湖畔に建つ美術館。水面をイメージしたシンボルマークとロゴタイプによってその魅力が伝わります。HP上ではロゴマークをベースにした水面のGIFアニメーションも展開します。

敷地全体を点でつなぐサイン

内部にいても外部のような設えの館内。ラフな素材感を生かした設計が引立つよう、ロゴマークと同様のドットの粗いピクセル状のグラフィックをベースにしたサインを館内に展開。

中房総地域に因んだ詩を四角いパンチプレスの穴によって表示する外壁サインや9mm角の点線によって建物内の出角や入角、柱をまたぐようにして導線をつなぐ誘導サインなど、敷地全体を小さな点でつないでいくことで全体をまとめています。

ICHIHARA LAKESIDE MUSEUM
市原湖畔美術館

エントランスロゴマークには、市原や菜の花などを詠んだ更級日記（一部）、万葉集、正岡子規、与謝蕪村の句が刻まれる



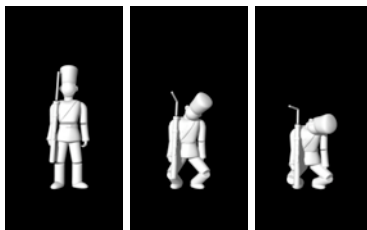
3. 恒久展示作品の新規設置



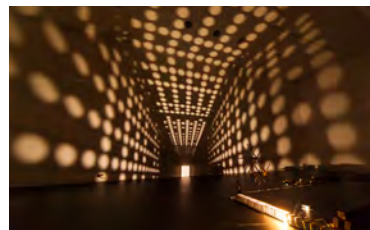
KOSUGE1-16 / 「Heigh-ho」



木村崇人 / 完成イメージ



KOSUGE1-16 / 「Toy soldier」イメージ



クワクボリョウタ / 参考作品
(c)Osamu Nakamura



ヴィト・アコンチ / コンセプトイメージ



目指す美術館像

1、アートを通じた地域づくり、中核施設として

市制施行50周年を迎えた市原市が掲げる、南部の観光振興、そして来年3月開催の「中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス」におよぶアートを媒体とした地域づくりに対し、中心的な施設として、様々な人たちが行き来する、地域のなかの美術館を目指します。

2、アート、食、遊び...首都圏のオアシスとして

今年4月27日に圏央道「市原鶴舞IC」が開通し、首都圏から美術館のアクセスが改善されました。高滝湖畔という絶好のロケーションを生かし、室内だけでなく、屋外に展開する食や遊びも満足できる、魅力あふれる美術館を目指します。

3、新しい感覚を味わう美術館

現代社会において、美術館に来て体験できることとは何なのか、その点を改めて見つめ直し、独創性に富んだ企画を展開していきます。これまでにない主題や感覚を味わいながら、「市原へ来て、よかった」と思える美術館を目指します。



オープニング記念企画展

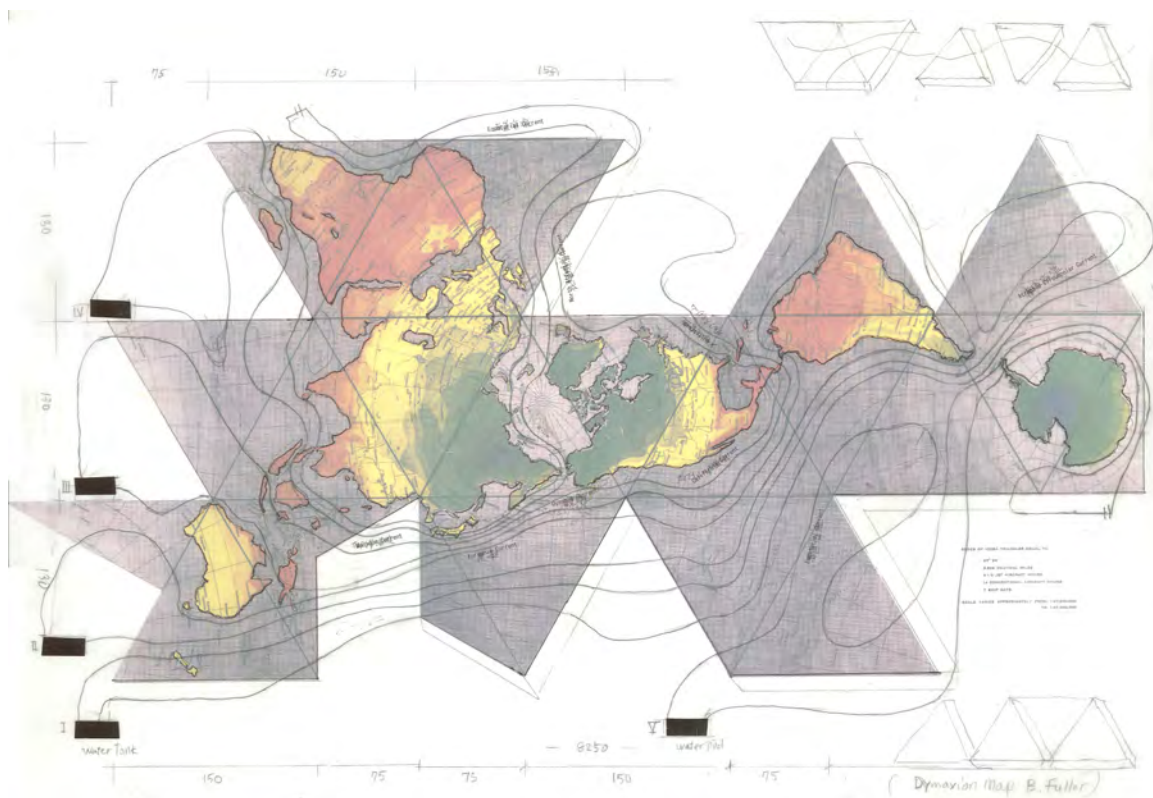
磯辺 行久ー環境・イメージ・表現ー

会期2013年8月3日[土]ー11月4日[月・祝]

戦後日本の前衛美術を代表する作家でありながら、その活動を一度やめ、渡米しエコロジカル・プランニングを学んだ磯辺行久(1935年-)。環境設計家としての活躍を経て、2000年代の越後妻有アートトリエンナーレへの参加以降、広く「環境」をテーマとしながら、再び精力的に芸術活動を行っています。本展では、地球・大陸・列島を新たな視点でみせる新作のほか、未発表の旧作を約30点展示予定です。

同時開催常設展:深沢幸雄記念室

市原市在住の銅版画家である深沢幸雄(1924年-)。リニューアルに際し、深沢氏のアトリエを再現した常設展示室を開室します。



磯辺行久「新作《海流資源・ダイマキシオンマップ》のためのドローイング」2013

イベント情報

2013年8月3日(土)、オープニング記念イベント開催!

開催内容(予定): 芝生でBBQ, パフォーマンス・イベント等

年間展覧会予定

2013年11月23日～12月25日

市原市こども絵画展(仮称)

2014年2月1日～3月16日

リニューアル記念 市原の作家 深沢幸雄展(仮称)

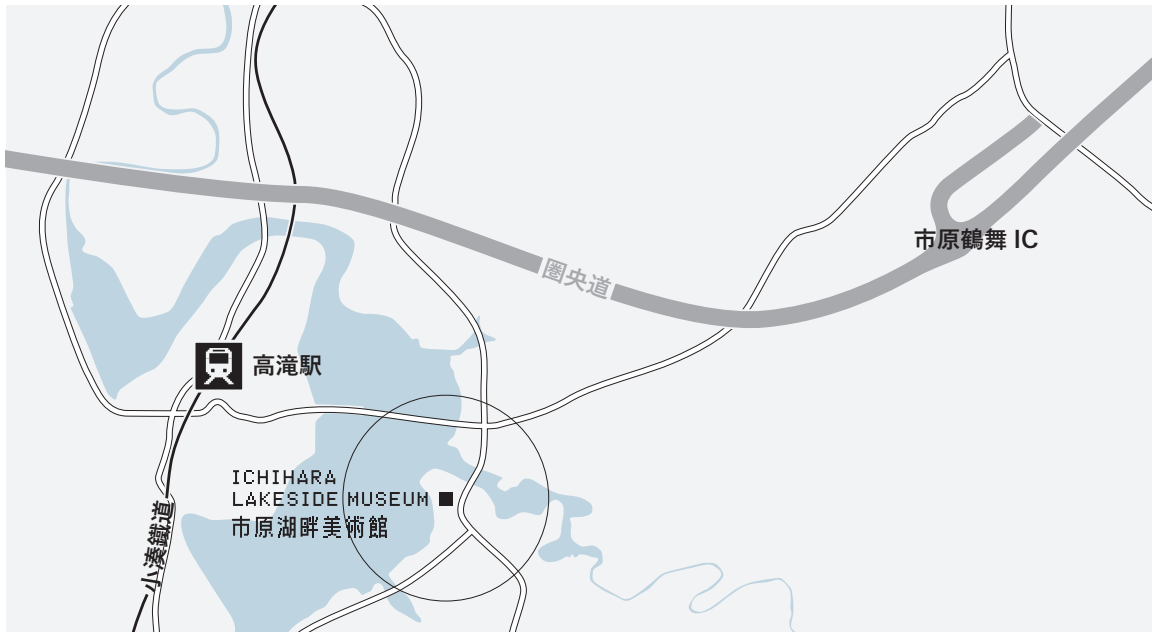
アクセス

所在地: 〒290-0554 千葉県市原市不入75-1

電車で: JR 内房線五井駅乗り換え 小湊鉄道「高滝」駅より徒歩20分
又はバスで4分

お車で: 圏央道「市原鶴舞IC」より約5分

高速バスで: 東京駅・羽田空港・横浜駅より約1時間
(市原鶴舞バスターミナル経由、路線バス利用 約5分)



**「市原湖畔美術館」
関係者略歴**

有設計室

川口有子（1974年生まれ）と鄭 仁愉（てい・じんゆ）で共同代表を務める。共に山本理顕設計工場を経て、2005年有設計室設立。

磯辺行久

1935年生まれ。美術家としての活躍後、65年に渡米。ニューヨーク市公園課などにプランナーとして勤務を経て75年リジナル・プランニング・チーム設立。00～09年越後妻有アートトリエンナーレ、13年瀬戸内国際芸術祭参加。07年個展開催（東京都現代美術館）。

深沢幸雄

1924年生まれ。市原市在住。東京美術学校を卒業後、独学で銅版画を始める。1963年メキシコ国際文化振興会の依頼により、メキシコで銅版画指導。1990年日本版画協会理事長就任。1994年メキシコ国際文化勲章アギラ・アステカ受章。

牧野研一郎

1951年生まれ。三重県立美術館勤務を経て、1987年から愛知県新文化会館の立ち上げに携わる。2007－2011年愛知県美術館館長。



広報についてのお問い合わせ

市原市経済部観光振興課

tel. 0436-23-9755 fax. 0436-22-6980

kankou@city.ichihara.chiba.jp

市原湖畔美術館 担当：渡辺

tel: 0436-98-1525 fax:0436-98-1521

info@lsm-ichihara.jp www.lsm-ichihara.jp

